

休日当番病・医院

5月12日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター
旭町 32-0099
- ◆外科 同樹会古小牧病院
新中野町 36-1221
- ◆歯科 松井デンタルクリニック
明野新町 57-8241

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時、本紙は毎週火曜日に編集のため、その後休
日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。
ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



5月24日(金)
氷見谷馨弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党古小牧地区委員会
古小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

日本共産党
民主苦小牧

発行 日本共産党古小牧地区委員会

古小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
古小牧市議会ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

非核平和条約と憲法無視の事態危惧する

市民団体

「特定利用港湾」選定に抗議し、市に要請

要請内容は、①選定にあつて関係機関との確認事項の公開 ②自衛隊などの今後の利用状況 ③割り当てられる24億円による古小牧港の整備内容 ④有事の際に攻撃目標となる危険性に対する市の認識の4項目です。

横山委員長は、今回の要請の背景には次のような危機感があると説明しました。

●今回の選定は、国からどんな説明があつたのかすら、事前には市民にほとんど知らされておらず、国会、道議会、市議会でも十分な検討がなされたとは言えず、民主的な手続きに欠ける部分があつたのではないかと

●今回の選定の根拠となる2022年閣議決定の安保3文書には、自衛隊と米軍で民間港の共同利用を推進していくことが記載されており、米軍寄港の頻度も高まるのではないか



政府は古小牧港を安保3文書に基づく国家安全保障戦略により「特定利用港湾」に選定しました。自衛隊や海上保安庁の艦船が必要とする際に港湾を円滑に利用するための枠組みの調整が加速され、港湾の整備や利用訓練が推進されることとなります。

市内の労働組合などでつくる「古小牧港の軍港化阻止実行委員会」(実行委員長＝横山傑古小牧地区労連議長)は4月26日、会のメンバー7人が市役所を訪れ、「特定利用港湾選定について市民への説明を求める要請書」を応対した小名智明産業経済部長に手渡しました。

●「東アジアの国際秩序の維



持」という名目で、古小牧市の非核平和都市条例にとどまらず憲法の規定さえ無視した事態を進行させていく危惧があるのではないかと

●「有事を想定したものではない」といくら言つても、出撃地点とみなされることによつて相手国の攻撃を誘発し、市民を危険にさらすことになるのではないかと

市側は、市はこれまでと同様に港湾法の規定に則つた対応をするとし、市長も繰り返し平和を守ることを大切さを表明しており、要請された事項については関係機関に適切に伝え、市民への情報周知に努める旨の回答をしました。

横山委員長は、「国からどのような説明と確認がなされたのかを、少なくとも北海道は高知県などのように全てホームページに掲載するなどして、情報公開に努めるべきで、市としてもできるだけのことはしてほしい」「米軍の横暴を許さないためにも、米国総領事館などに対しても引き続き対応していただきたい」「いま喫緊の課題として求められていることは自然災害への対処であり、今回の選定はそのためのものではなく、国民の

安全の確保を目的としているとは思えない」と重ねて要請しました。

参加者は、「非核平和都市条例は非核とともに恒久平和の実現をうたっていることを再認識してほしい」「米軍は必要性を感じられない理由で、古小牧港を自由に使おうとしている。軍事利用を安易に許してはいけない」などと訴えました。

たつの広志



先日、署名で伺った歯科技士の方から話を伺うことができました。20年以上歯科医師から、入れ歯(義歯)の作製を請け負い仕事をしていた方でした。入れ歯などの場合、技工士に支払われる報酬の割合が決まっていると言いますが、それが守られず、歯科医師まかせとなつていくというのです。

入れ歯の作製を担う技工士と歯医者との関係をはじめとて、技工士の方々の待遇改善、診療報酬の引き上げと遵守が必要であることを痛感しました。

その方は、「今のままであれば、歯科技工士の将来性がなく、なり手がなくなつてしまふのではないかと。自分の子どもにも歯科技工士をめざせとはいえない」「患者に合わせる丁寧な仕事をしたいが、原材料の値上げで食っていくだけで精一杯」とのべ、「診療報酬の請求を医師だけでなく、技工士も直接できるようにしてほしい」と、共産党への期待が語られました。

歯科技工士の待遇改善を

立野広志(たつのひろし)
日本共産党北海道9区国政対策委員長

健康保険証の廃止撤回を
日本共産党マイナカード強制になる

古小牧から平和の声を

政治に春をよぶつどい

講演 畠山和也*立野広志
●元衆議院議員 ●道9区国政対策委員長

●5月19日(日)午後2時
●古小牧市民会館 小ホール
(参加費300円)

主催：政治に春をよぶつどい実行委員会
連絡先：日本共産党古小牧地区委員会 TEL 56-5002

団結で軍拡やめ暮らしを守る政治へ

メーデー苦小牧集会

大幅賃上げで希望ある社会



第95回メーデー苦小牧地区集会



第95回メーデー苦小牧地区集会が1日、若草中央公園で開催され、参加した19団体と個人ら180人の労働者や市民は、大幅賃上げと平和・民主主義の実現を訴えました。

横山傑実行委員長(苦小牧地区労連議長)は、「この春闘で賃上げが勝ちとられているが、まだまだ十分ではない。大幅な賃上げでこそ日本に希望をもつてすごせる社会が実現できます。私たち一人ひとりには非力かもしれないが今の社会を何とかしたいと希望の光を伝えることができるのは

訴えました。

各界から発言。勤医労は、診療報酬が引き上げられたが、全ての職場での賃上げが担保されておらず、職場に格差がもたらされたと告発。新日本婦人の会は、学校給食の無償化を訴える署名を始めたので協力を訴えました。脱原発・自然エネルギーをすすめる苦小牧の会は、苦小牧で実証実験されているCCS事業は、石炭火力発電の延命策に他ならないと批判しました。

集会後、参加者は青空のもとデモ行進し、市民にアピールしました。北電苦小牧支店前を通ったとき、「泊原発の再稼働と新設反対」「電気料金値上げ反対」とシュプレヒコールを繰り広げました。日本共産党の富岡隆、原啓司、森本健太の各苦小牧市議、三浦恵美子安平町議も参加しデモ行進に加わりました。

私たちの力です。力合わせましょう」とあいさつしました。

苦小牧市の小名智明産業経済部長、日本共産党の小野寺幸恵苦小牧地区委員長(苦小牧市議)、とまこまい広域農協の松原正明理事等が来賓として連帯あいさつ。小野寺委員長は、「生活が苦しいのに政府は何をやっているのかの怒りが広がっています。8時間働けば普通に暮らせる社会を実現するためには、政治を変えなければなりません。苦小牧港が特定利用港湾に選定され、自衛隊などが平時でも港をえるようになる。軍拡ではなく、暮らしのためのことを守るために、自民党政治を終わらせましょう」と力を込め

気候危機打開と整合性がない

岩淵議員 CCS 事業法案審議で追及



二酸化炭素貯留(CCS)

事業法案と水素社会推進法案が4月24日の参院本会議で審議入りし、日本共産党の岩淵

友議員は両法案について、「化石燃料の使用を前提に事業を推進するもの」と批判。両事業とも技術は確立しておらず、2030年までの温室効果ガスの排出削減目標と整合性がないと指摘しました。

CCS事業は、石炭火力発電など化石燃料を使う事業で排出した二酸化炭素を分離・

生業と暮らし守るために

インボイス制度廃止を 日本共産党

回収し、地中に埋める事業。水素社会推進法案で利用が想定される水素も、CCS利用が前提の化石燃料を原料としたものです。

斉藤健経産相は、「2050年カーボンニュートラル達成にむけて30年事業開始をめざす」と国際目標に背を向けた答弁に終始しました。

岩淵議員は、政府が今後、両事業に数兆円規模の官民投資を見込んでいるものの、関係業界自らが非常にリスクが高いことを認めているとして、国民への負担転嫁の危険性について指摘。さらに、CCS事業が環境に大きく負担を与えるにもかかわらず、環境アセスメントの対象外であること、水素の供給利用促進のため、高圧ガス保安法にかかる権限を都道府県知事から経産相に集中することなどをあげ、「安全規制を後退させることに他ならない」と追及しました。斉藤経産相は「関係自治体と連携し、安全の確保に取り組む」とのべるにとどまりました。

岩淵議員は、石炭火力の延命策でなく、「省エネ、再エネの本格的な導入こそ、気候危機を打開する道ではないのか」と強調しました。



地域を壊しているのは誰だ

国会かけある記 はたやま和也

この原稿を書いている時点(6日)で公式発表はまだですが、2030年度末の新幹線札幌延伸はできなくなりそうです。昨秋の政府要請で、私から工事は遅れているし、「このままでは矛盾が深まる」と強調したのに、国交省側からは何の回答もなし。今になつての発表で、混乱が広がっています。

道内117自治体が将来的に消滅の可能性があると報告書が発表されました。一部大企業や富裕層の利益を優先して、社会保障や農林漁業、公共交通という地域の土台を壊してきた自民党政権の結果ではないのか。新幹線問題と根はいっしょです。

田中角栄氏とも交流したという、ある町の自民党青年部長を務めたという方と会いました。「金のことばかりで、もう自民党はダメだ。地方のことを考えていない」と立腹されていて、日本共産党を友人にも広げると言います。私も元気に訴えてまわりたい。

島山和也(はたやま・かずや)日本共産党元衆議院議員



泊原発停止12年で集会(5日札幌市)

金権政治一掃へ。「金権腐敗政治を一掃するための請願署名」に「協力をお願いします」。